



きよし 清 議員
(新 生 会)

問 織笠地区道路整備は

答 今後も検討を進める

問 以前の定例会でも質問したが、上地区の三陸沿岸道路高架橋下町道織笠・礼堂線の一部が狭く通行に支障を来しているとの町民の声がある。このことについて当局の見解を伺う。

佐藤町長 町道織笠・礼堂線のうち、ご指摘の箇所は前後の道路に比べ幅員が狭小であるため、対向車とすれ違う際には待機や徐行をしなければならぬ状況である。当該箇所の拡幅整備については、これまでも調査を進めてきたが、用地の確保が大きな課題であると捉えているので、現在、事業を実施している当地区の排水路整備に係

る設計業務と併せ、今後も検討を進める。



整備が望まれる織笠・礼堂線

問 地域医療の確保は

答 開業への支援に努める

問 これまで地域医療を支えてきた地域の医療機関も高齢化等で減少していく中、県立病

院も含めた地域医療をどう維持していくのかの町民の考えを伺う。

町長 人口減少に伴う

医師のなり手不足や医師の都市部への流出などにより、医師確保及び医療機関の誘致は厳しい状況となっている。地域医療を維持していくために、引き続き、県などに対する県立山田病院の医療体制の充実に資する要望活動

や市町村医師養成事業に対する負担金の支出などにより、医師確保に努めていく。併せて、町内において診療所等を開業する経費への補助事業について周知を図るとともに、開業への支援に努めていく。

問 水道管老朽化について

答 老朽管の更新に努める

問 現在、能登半島地震で水道管が話題となっているが、当町の水道管老朽化への対策は取れているのか、また当町における耐震管の普及率を伺う。

町長 水道管の老朽化対策については、令和

4年度に策定した水道管路耐震化更新計画に基づき、老朽管の更新に合わせて耐震管への布設替えを進めている。また、耐震適合性のある管路の割合は、5年度末で31%となっている。

その他の質問

- ◆観光客誘致について
- ◆街灯について
- ◆水産加工業への補助金について
- ◆廃止された公共施設の管理対策について